

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所

東

コード番号 2323 URL https://www.fonfun.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之 (氏名) 八田 修三

代表者

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 有 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	461	12.3	30	1,396.2	30		29	
2022年3月期第3四半期	410	8.4	2	94.2	0		24	

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 29百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 24百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	8.98	
2022年3月期第3四半期	7.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,001	583	58.2
2022年3月期	950	553	58.2

(参考)自己資本

2023年3月期第3四半期 583百万円 2022年3月期 553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円銭		
2022年3月期		0.00		0.00	0.00		
2023年3月期		0.00					
2023年3月期(予想)				0.00	0.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日~2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	(//○状//18/ / / / / / / / / / / / / / / / / /								
	売上	高	営業和	引益	経常和	利益	親会社株主! 当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	673	21.1	40	299.8	40	436.5	40		11.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	3,380,920 株	2022年3月期	3,380,920 株
2023年3月期3Q	45,291 株	2022年3月期	45,161 株
2023年3月期3Q	3,335,692 株	2022年3月期3Q	3,335,861 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	. 2
(1)経営成績に関する説明	. 2
(2) 財政状態に関する説明	• 4
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	. 9
(継続企業の前提に関する注記)	. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	. 9
(会計方針の変更)	. 9
(企業結合等関係)	. 9
(重要な後発事象)	•1(
(開示の省略)	·11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年12月31日)の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られましたが、急速に進行した円安やウクライナ情勢の長期化などに伴う資源・エネルギー価格の上昇、依然として継続する半導体や各種部材不足の影響などにより、その先行きは不透明な状況となっております。

こうした市場環境のなか、当社グループを取り巻く環境に関しては、スマートフォンが市場の中心となり、業界再編が続いております。2022年9月末における携帯電話の契約数は2億538万件(前年同期比3.5%増総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

また、連結子会社株式会社FunFusionにて提供していますSMSサービスにおいては、SMS配信サービスの認知度が向上し、SNSやスマートフォンアプリの利用時などの本人認証通知、公共料金・税金など督促の通知、飲食業界のノー・ショウ(飲食店における無断キャンセル)対策としての予約確認など企業と個人の間でのコミュニケーション手段として高い到達率と開封率というSMSの有用性を再認識する企業の増加に伴い、SMS配信市場は成長を続けており、2026年度にはSMSの配信数は14,077百万通にも及ぶという調査結果(「ミックITリポート 2022年10月号」(ミック経済研究所))があり、SMS市場は、今後も高い成長を続けていくものと予測されております。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様の喜ぶことを皆と分かち合い、ともに喜ぶ」を経営理念として掲げ、お客様の生活をより豊かに便利にするツールを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、新たなサービスの企画・提供を実施してまいりました。

【当第3四半期連結累計期間の実績】

以上の方針のもと、当四半期累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントを従来の「リモートメール事業」「SMS事業」「ボイスメール事業」「メディア事業」「その他事業」から、「SMS事業」「リモートメール事業」「ボイスメール事業」「受託開発ソフトウェア事業」「その他事業」のセグメントに変更しております。

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期	前年同期比	
売上高	410百万円	461百万円	50百万円	12.3%
営業利益	2百万円	30百万円	28百万円	1, 396. 2%
経常利益又は経常損失	△0百万円	30百万円	30百万円	
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△24百万円	29百万円	54百万円	_

売上高は、コロナ禍による営業活動が制約される状況は継続しておりますが、感染対策に努めながら営業活動を再開しており、前年同期比12.3%増収の461百万円となりました。営業利益は、売上原価の見直しや受託開発受注件数増加により、前年同期比1,396.2%増の30百万円となりました。また、経常利益は、貸倒引当金の戻入による営業外収益の増加と、第1四半期連結会計期間より持分法による投資利益が計上されたことから、前年同期がマイナス0百万円の経常損失比べて、経常利益30百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期ののれんの減損の影響がなくなったため、29百万円となりました。

当社グループの各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。 (セグメント別売上高)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期	前年同期比	
SMS事業	150百万円	200百万円	50百万円	33.8%
リモートメール事業	142百万円	130百万円	△12百万円	△8.7%
ボイスメール事業	65百万円	60百万円	△5百万円	△8.2%
受託開発ソフトウェア事業	21百万円	48百万円	26百万円	125.5%
その他	30百万円	21百万円	△9百万円	△29.8%
合計	410百万円	461百万円	50百万円	12.3%

(セグメント別営業利益又は損失△)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第3四半期	第3四半期 前年同期		司期比
SMS事業	48百万円	71百万円	22百万円	46.8%
リモートメール事業	61百万円	55百万円	△6百万円	△9.9%
ボイスメール事業	19百万円	15百万円	△3百万円	△16.8%
受託開発ソフトウェア事業	3百万円	22百万円	19百万円	572. 8%
その他	△3百万円	△0百万円	2百万円	_
調整額	127百万円	134百万円	6百万円	5.3%
슴計	2百万円	30万円	28百万円	1, 396. 2%

※調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用(セグメントに帰属しない一般管理等)をいいます。

① リモートメール事業

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に努め、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。

さらに、法人向けサービスとして開発した「リモートブラウズ」、「リモートカタログ」や他社から提供を受けている「fonfun AnyClutch リモート」、「リモート名刺(BizCompass)」など、リモートメール以外のスマートデバイス向けサービスの販売も強化しております。「リモートメール」法人版サービス、「リモートブラウズ」、「fonfun AnyClutch リモート」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、テレワーク支援ソリューションとして、企業・自治体等をBCP対策の側面から支援する活動サービスを積極的に展開しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は130百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は55百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

② SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「らくらくナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」と3つのサービスがあります。当第3四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、LPガスという新規業界へも販路拡大のための営業活動を行い、市場拡大に努めてまいりました。加えて、導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介により、新規獲得件数は好調に推移しております。また、当第3四半期においてケイビーカンパニー株式会社より譲り受けたSMS送信事業も好調に送信数を増加させております。

上記の結果、SMS事業の売上高は200百万円(前年同期比33.8%増)、セグメント利益71百万円(前年同期比46.8%増)となりました。

③ ボイスメール事業

ボイスメール事業は、2019年12月に譲受けた事業であり、スマートフォンアプリを利用して音声情報をメールのようにやり取りできる法人向けのサービスであります。

ボイスメール事業の売上高は60百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益15百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

④ 受託開発ソフトウェア事業

受託開発ソフトウェア事業は、システム開発、保守業務によるものであります。

受託開発ソフトウェア事業の売上高は48百万円(前年同期比125.5%増)、セグメント利益22百万円(前年同期比572.8%増)となりました。

⑤ その他

その他の売上は、主に、インターネット接続の提供及びウェブサイト構築に用いるサーバのレンタルサービスであります。

売上高は21百万円(前年同期比29.8%減)、セグメント損失0百万円(前年同期セグメント損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ、51百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少47百万円、のれんの増加123百万円等であります。

負債は418百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加しております。主な要因は、短期借入金の借入による増加25百万円であります。

純資産は583百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となっております。主な要因は、利益剰余金の増加29百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年 3 月期の通期連結業績予想(2022年 4 月 1 日~2023年 3 月 31 日)につきましては、2022年 5 月 13 日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614, 274	567, 130
売掛金	121, 113	94, 395
短期貸付金	126	126
その他	17, 611	28, 337
貸倒引当金	△3, 098	△1, 107
流動資産合計	750, 027	688, 882
固定資産		
有形固定資産	6, 003	5, 850
無形固定資産		
のれん	137, 681	260, 930
商標権	1, 165	1, 235
ソフトウエア	6, 086	3, 958
無形固定資産合計	144, 933	266, 124
投資その他の資産		
投資有価証券	21, 100	21, 825
長期未収入金	776, 946	775, 956
繰延税金資産	275	19
その他	27, 362	19, 243
貸倒引当金	△776, 946	△775, 956
投資その他の資産合計	48, 737	41, 089
固定資産合計	199, 674	313, 064
繰延資産		
株式交付費	387	_
繰延資産合計	387	_
資産合計	950, 089	1, 001, 947

/)) / / L		-	\Box
(単位	•	-	円)
(11/.		- 1	1 1/

(2022年3月31日) (2022年12月31日) 負債の部 流動負債 買財金 28,552 20,437 乗払法人税等 580 433 賞与引当金 1,518		前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
流動負債 28,552 20,437 短期借入金 59,158 84,156 1年内返済予定の長期借入金 99,336 105,566 未払法人税等 580 433 賞与引当金 1,518 — 未払金 14,409 14,89 その他 16,202 22,74 流動負債合計 219,757 248,233 固定負債 156,712 149,08 退職給付に係る負債 20,416 21,526 固定負債合計 396,886 418,84 純資産の部 株主資本 100,000 100,000 資本組余金 607,299 607,299 利益剰余金 607,299 607,299 利益剰余金 607,299 607,296 利益剰余金 20,615 50,556 自己株式 △174,711 △174,756 株主資本合計 553,203 583,09 純資産合計 553,203 583,09			
買掛金28,55220,433短期借入金59,15884,1561年内返済予定の長期借入金99,336105,56未払法人税等580433賞与引当金1,518—未払金14,40914,89その他16,20222,746流動負債合計219,757248,233固定負債29,41621,526長期借入金156,712149,086退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計396,886418,846純資産の部417,7128170,616資本金100,000100,000資本金100,000100,000資本金607,299607,296利益剩余金607,299607,296利益剩余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,096純資産合計553,203583,096	負債の部		
短期借入金 59,158 84,155 1年内返済予定の長期借入金 99,336 105,565 未払法人税等 580 433 賞与引当金 1,518 — 未払金 14,409 14,893 その他 16,202 22,745 流動負債合計 219,757 248,233 固定負債 長期借入金 156,712 149,088 退職給付に係る負債 20,416 21,526 固定負債合計 177,128 170,614 負債合計 396,886 418,846 純資産の部 株主資本 資本金 100,000 100,000 資本剰余金 607,299 607,298 利益剰余金 607,299 607,298 利益剰余金 20,615 50,556 自己株式 △174,711 △174,756 株主資本合計 553,203 583,098 純資産合計 553,203 583,098	流動負債		
1年内返済予定の長期借入金 99,336 105,56 未払法人税等 580 43 賞与引当金 1,518 — 未払金 14,409 14,89 その他 16,202 22,74 流動負債合計 219,757 248,23 固定負債 156,712 149,08 退職給付に係る負債 20,416 21,526 負債合計 396,886 418,846 純資産の部 株主資本 資本金 100,000 100,000 資本剰余金 607,299 607,299 利益剰余金 20,615 50,556 自己株式 △174,711 △174,756 株主資本合計 553,203 583,09 純資産合計 553,203 583,09	買掛金	28, 552	20, 437
未払法人税等580433賞与引当金1,518-未払金14,40914,893その他16,20222,748流動負債合計219,757248,233固定負債156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,848純資産の部株主資本資本金100,000100,000資本剩余金607,299607,299利益剩余金607,299607,299利益剩余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,099純資産合計553,203583,099	短期借入金	59, 158	84, 158
賞与引当金1,518一未払金14,40914,892その他16,20222,749流動負債合計219,757248,233固定負債長期借入金156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,846純資産の部株主資本資本金100,000100,000資本剩余金607,299607,298利益剩余金607,299607,298利益剩余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,098純資産合計553,203583,098	1年内返済予定の長期借入金	99, 336	105, 561
未払金14,40914,89その他16,20222,74流動負債合計219,757248,23固定負債156,712149,08長期借入金156,712149,08退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,616負債合計396,886418,846純資産の部****株主資本100,000100,000資本組余金100,000100,000資本剰余金607,299607,296利益剰余金607,299607,296利益剰余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,096純資産合計553,203583,096	未払法人税等	580	435
その他 流動負債合計16,20222,744流動負債合計219,757248,233固定負債156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,846純資産の部****株主資本100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金607,299607,296利益剰余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,096純資産合計553,203583,096	賞与引当金	1, 518	_
流動負債合計219,757248,237固定負債156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,848純資産の部株主資本100,000100,000資本金100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金607,29950,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,098純資産合計553,203583,098	未払金	14, 409	14, 892
固定負債長期借入金156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,846純資産の部******株主資本100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,095純資産合計553,203583,095	その他	16, 202	22, 749
長期借入金156,712149,088退職給付に係る負債20,41621,526固定負債合計177,128170,614負債合計396,886418,848純資産の部株主資本核本全100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,098純資産合計553,203583,098	流動負債合計	219, 757	248, 233
退職給付に係る負債 固定負債合計20,41621,526負債合計396,886418,846純資産の部 株主資本100,000100,000資本剰余金607,299607,296利益剰余金20,61550,556自己株式△174,711△174,756株主資本合計553,203583,096純資産合計553,203583,096	固定負債		
固定負債合計177, 128170, 614負債合計396, 886418, 848純資産の部株主資本 資本金100,000100,000資本剰余金607, 299607, 299利益剰余金20, 61550, 554自己株式△174, 711△174, 754株主資本合計553, 203583, 098純資産合計553, 203583, 098	長期借入金	156, 712	149, 088
負債合計396,886418,846純資産の部株主資本資本金100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,098純資産合計553,203583,098	退職給付に係る負債	20, 416	21, 526
純資産の部株主資本資本金100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,099純資産合計553,203583,099	固定負債合計	177, 128	170, 614
株主資本 100,000 100,000 資本剰余金 607,299 607,299 利益剰余金 20,615 50,554 自己株式 △174,711 △174,754 株主資本合計 553,203 583,099 純資産合計 553,203 583,099	負債合計	396, 886	418, 848
資本金100,000100,000資本剰余金607,299607,299利益剰余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,099純資産合計553,203583,099	純資産の部		
資本剰余金607, 299607, 299利益剰余金20, 61550, 554自己株式△174, 711△174, 754株主資本合計553, 203583, 099純資産合計553, 203583, 099	株主資本		
利益剰余金20,61550,554自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,099純資産合計553,203583,099	資本金	100, 000	100, 000
自己株式△174,711△174,754株主資本合計553,203583,099純資産合計553,203583,099	資本剰余金	607, 299	607, 299
株主資本合計553, 203583, 099純資産合計553, 203583, 099	利益剰余金	20, 615	50, 554
純資産合計 553, 203 583, 099	自己株式	△174, 711	△174, 754
	株主資本合計	553, 203	583, 099
負債純資産合計 950,089 1,001,94	純資産合計	553, 203	583, 099
	負債純資産合計	950, 089	1, 001, 947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	410, 636	461, 288
売上原価	140, 803	172, 621
売上総利益	269, 833	288, 667
販売費及び一般管理費	267, 771	257, 821
営業利益	2, 061	30, 845
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	43
持分法による投資利益	_	725
貸倒引当金戻入額	990	3, 006
その他	119	85
営業外収益合計	1, 152	3, 860
営業外費用		
支払利息	2, 350	3,070
株式交付費償却	410	387
その他	605	618
営業外費用合計	3, 367	4, 076
経常利益又は経常損失(△)	△153	30, 629
特別損失		
減損損失	23, 607	
特別損失合計	23, 607	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△23, 761	30, 629
法人税、住民税及び事業税	435	435
法人税等調整額	286	255
法人税等合計	721	690
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24, 482	29, 939
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△24, 482	29, 939

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2021年4月1日	(自 2022年4月1日
	至 2021年12月31日)	至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24, 482	29, 939
四半期包括利益	△24, 482	29, 939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	∆24, 482	29, 939
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

- 1. 企業結合の概要
 - (1)被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称:ケイビーカンパニー株式会社

事業の内容 : SMS送信事業

(2)企業結合を行った主な理由

SMS送信事業における顧客基盤の拡大、送信数増加による送信原価の削減を達成することで、当社のSMS送信事業の競争力の強化及び業績の向上を考えております。

(3)企業結合日

2022年11月1日

(4)企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(5)結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による現金を対価とする資産等の事業譲受であること。

- 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間 2022年11月1日から2022年12月31日まで
- 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 145,454千円 取得原価 145,454千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

弁護士費用 500千円

事業価値算定費用 730千円

- 5. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
 - (1)発生するのれんの金額

145,454千円

(2) 発生原因

主として将来の収益予想に基づく超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

8年間にわたる均等償却

- 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳 資産は営業権(145,454千円)のみであり、負債は引き受けておりません。
- 7. 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当連結会計年度における概算額の算定が困難であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、2023年1月25日開催の取締役会において、2023年4月1日を効力発生日として、完全子会社である株式会 社FunFusion(以下「FunFusion」)を吸収合併することを決議し、2023年2月13日付で合併契約を締結しておりま す。

1. 合併の目的

FunFusionは、当社グループの主要事業のひとつであるSMS事業を行っております。2009年の当社からの出資により当社の子会社となり、2011年に100%子会社化、2016年からは当社からSMS事業を移管し、以来、SMS事業の拡販に努めてまいりました。

当社グループは、2021年12月15日開示の中期経営計画(2021/12~2025/3)において、中小企業のDX化支援に特化し、得意分野かつ成長分野であるSMS事業に選択と集中することを基本方針としております。グループ全体でSMS事業の成長を目指すために、FunFusionが主体となっていたSMS事業を再び親会社が運営する体制をとり、事業効率の向上・投資意思決定の迅速化を実現してまいります。

2. 合併の要旨

(1)合併の日程

当社ならびにFunFusionでの取締役会決議日 2023年1月25日 合併契約締結日 2023年2月13日 実施予定日(効力発生日) 2023年4月1日

(2)本合併の方式

当社を存続会社とし、FunFusionを消滅会社とする吸収合併です。

(3)本合併に関わる割り当ての内容

本合併に際して、新株の発行及び金銭等の割り当ては行われません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い 該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社	
① 名称	株式会社fonfun	株式会社FunFusion	
② 本店所在地	東京都渋谷区笹塚二丁目1番6号	東京都渋谷区笹塚二丁目1番6号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 和之	代表取締役社長 林 和之	
④ 事業内容	携帯電話向けメールサービス、	SMS送信事業	
	受託ソフトウェア開発等	SMS医信事来	
⑤ 資本金	1億円	9, 475万円	
⑥ 設立年月日	1997年3月3日	2006年7月13日	
⑦ 発行済み株式数	3, 380, 920株	1,400株	
⑧ 決算期	3月31日	3月31日	

	T		I	
⑨ 大株主及び持ち株比率	株式会社武蔵野	39.5%	株式会社fonfun	100.0%
(2022年9月30日現在)	株式会社サイブリッジ	15.1%		
	賀川正宣	3.9%		
	株式会社EGIJ	3.1%		
	株式会社SBI証券	2.6%		
⑩ 直前事業年度の経営成績及	て財政状態(2022年3月期)			
	<連結・日本基準>	>	<単体・日本基準法	>
純資産	553, 203千円		42, 422千円	
総資産	950,089千円		97,766千円	
1株当たり純資産	165.84円		30, 302. 13円	
売上高	556, 319千円		22	8,958千円
営業利益	10,004千円			3,468千円
経常利益	7,456千円			3,966千円
親会社株主に帰属する当				
期純利益又は	Λ 1/	7 100 T III		0 676 T III
親会社株主に帰属する当	△17, 108千円		3,676千円	
期純損失(△)				
1株当たり当期純利益又は		A.E. 10EE		605 07 H
1株当たり当期純損失(△)		△5.13円	2	, 625. 97円

4. 本合併後の状況

本合併後の当社の名称、事業内容、本店所在地、資本金、代表者の役職・氏名、発行済み株式数及び決算期に変更はありません。

なお、2024年3月期につきましては、本合併により連結子会社が存在しなくなるため、単体決算となる見込みです。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております